

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	37666	
事業名	観光客受入環境整備費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	瀬川	担当者名	松浦、前本	電話番号	011-211-2376	
施策名	主	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	観光地としての総合的な満足度(新千歳空港観光客動態調査・外国人) 2022:68.5%⇒2027:69.2%				
		長期	①都心部の観光バスの危険・迷惑な駐停車を減らす ②公衆無線LAN環境運用により観光客の利便性向上を図る ③既存サインの維持管理を行う ④観光施設の総合的な受入環境整備を支援する				
	取組内容	事業目的:来札幌観光客のニーズに対応した環境整備により、札幌観光の満足度を向上させる。 事業内容:①観光バス乗降場及び駐待機場の整備・利用促進 ②Sapporo City Wi-Fiの運用・整備 ③既存の観光案内サインの維持管理 ④観光施設が行う施設利用単価の増額などに資する受入環境整備への補助					
	実施結果	①観光バス駐車場の運営を行ったほか、ノルベサ前観光バス乗降場の看板維持管理及び事業周知を行った。巡回整理業務及び実態調査業務は新型コロナウイルスの影響により実施せず。②市内の既存Wi-Fiの運用を行った。③都心部の既存サインの更新・修繕を行った。④市内の観光施設が行う施設利用単価の増額などに資する受入環境整備に対する補助を実施した。					
事業実施における工夫点	新たな取組みとして④の事業を行い、観光需要回復後に備える取り組みを行った。						
対象者	市民、観光客、バス事業者、観光施設、宿泊施設			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	①他都市でもバス駐車場が設置されている。②多数の都市で公衆無線LAN環境運用のための取組を実施している。③他都市でも同様の案内板を設置し、維持管理を行っている。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		24,653	63,000	29,763	84,000
うち特定財源		0	0	13,250	0
人工		0.5	0.7	0.7	1.0
人件費		3,600	5,040	5,040	7,100
計(事業費＋人件費)		28,253	68,040	34,803	91,100
事業費 の内訳	令和4年度決算	①観光バス乗降場・待機場の利用促進及び整備など:99千円 ②Sapporo City Wi-Fi運用・整備:15, 048千円 ③サイン更新等:1, 351千円 ④観光施設魅力アップ補助等:13, 265千円			
	令和5年度予算	①観光バス乗降場・駐車場の利用促進及び整備など:8, 806千円 ②Sapporo City Wi-Fi運用・整備:13, 794千円 ③サイン更新等:3, 400千円 ④観光施設魅力アップ補助:25, 000千円 ⑤宿泊施設受入環境整備補助:33, 000千円(新規事業)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	観光バス駐車場利用台数							
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
	2529	14000	9951	14000					
活動指標2	指標名								
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
成果指標1	指標名	滞在中に受けたおもてなしに対する満足度(満足+まあ満足)							
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
	91.80%	90%	88.60%	-					
成果指標2	指標名	観光地としての総合的な満足度(外国人)(満足)							
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
	-	-	68.50%	71.00%					
項目	判定	理由							
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	観光バス駐車場の利用台数は新型コロナウイルス感染症による観光バス需要減の影響を受けた。Wi-Fi運用やサイン更新は予定通り実施。 市内の観光施設が行う施設利用単価の増額などに資する受入環境整備に対する補助を実施した。							
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	観光バス対策について、新型コロナウイルス感染症による観光バス需要減にあわせ、駐車場の一部縮小や巡回整理業務の取りやめなどの事業縮小を行い、適切な規模で実施した。							
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	観光バス駐車場運営にあたっては、民間事業者に土地を貸し付けることで市費負担なく整備・運営を実施している。その他業務も業務委託等により効率的に実施した。							
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	来札観光客のおもてなしに対する満足度は目標値をわずかに下回ったが、高い水準を維持している。							
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映								
今後の改善点	観光バス対策について、コロナ禍からの回復を踏まえた観光バス需要について適切に把握し、必要な対策を検討していく。 また、観光客のニーズを適切に把握し、公衆無線LANをはじめとした通信環境整備策や観光案内サインの最適配置及びタイムリーな情報更新、効果的な補助内容等について検討する。								
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
評価の理由	観光バス対策、公衆無線LANの運用、観光案内サインの維持管理、観光施設への補助など、多岐に渡って事業者や観光客のニーズに合わせた支援を実施したため。								
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止 観光案内サインについて、都心部再開発による動線変化等を踏まえ、広域周遊・回遊につながる効果的な設置場所や民間活力の導入を含めた維持管理・運営手法の構築に向けた調査・検討を実施し、整備方針(案)を策定する。							
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 引き続き予算の範囲内で事業を実施する。			見直し効果額 0 千円				